

テーマ

- ・子どもも大人も生き生きできる地育
- ・共育活動の創造・地域と学校園が手を携えた防災教育を進める。
- ・結ぼう地域の絆「豊かな心・しなやかな学び・確かな安心」

目標

豊かな心を育み、地域を大切に、たくましく生きる力を持った子どもの育成をめざす学校支援活動の促進と地域全体で展開する美しく、安全・安心な繋がる地域づくり。

今年度の取組紹介

◆地域防災・減災への意識を高める取組の一つとして、「防災フェスタ in 富南」の開催を継続していることで、生徒、児童の防災への意識も高くなり、地域との結びつきも強くなってきている。この取組の中で、地域の方との打ち合わせの中でも生徒意見が出るようになり、当日に運営スタッフとなった生徒たちは、個々がどう動けばよいかも自分で考えて動けるようになっていきます。

◆新たな取組として、ボランティアサークルの生徒たちが、ブランド品につながる取組に挑戦した。教員のアドバイスを受けながら、子どもたちが中心となり、何を作り出すかを何度も話し合い、先輩たちが生み出した中学校区のマスコットキャラクター「とみにゃん」のストラップと、ハート形のパンケーキを考案し、防災フェスタで販売を行った。結果として評判も良く、早い時間で完売しました。



今年度のまとめ

「防災フェスタ in 富南」を積み重ねてきたことで、子どもたちの防災への意識も年々高まり、自分たちがどのように動けばよいのかを自ら考える力を身に付けてきています。

また、朝夕の通学途中で出会った地域の方へのあいさつも増え、地域のつながりが少しずつではあるが強くなってきています。

中学校区に定着してきたマスコットキャラクター「とみにゃん」を使っの校区産品を作ろうと生徒会やボランティアサークルが教員や地域と一緒に考案する機会も生まれ、製品を生み出す大変さを経験しました。

来年度に向けて

防災フェスタは、お祭り要素が大きくなってきた面もあるので少し見直しを行う必要がある。

新たな取り組みとして、28年度実施できなかった漢字検定の準試験会場の開設を行い、親子で挑戦する機会を設けます。

中学生対象で行った英語検定も地域の方々も一緒に受けられる会場にしていければと検討します。

テーマ

創造、自分の夢、地域の未来～郷土に誇りを持てる富南創造～

目標

**地域の中の自分を実感！ 地域から学び、地域と協働する！
ハートフルデイ、キャリア教育、地域・学校行事を充実。**

今年度の取組紹介

- 地域人材の協力を得ながら実施しているキャリア教育（福祉体験・職場体験学習など）は、子どもたちが将来の職業を考える指針となっています。事後学習の発表は地域の情報教育活動支援で得たプレゼンソフト活用力で発表準備をする等、それぞれで工夫したプレゼンが行われ、生徒たちの表現力とコミュニケーション力を高める機会となっています。また、地域の「花いっぱい運動」と生徒会の「富南お花プロジェクト」がタイアップし、栽培・環境整備の活動も活発な一年でした。その様子を学校ホームページにも載せることができました。
- 地域の年間行事としても定着してきた『とみにゃんコンサート』『防災フェスタ in 富南』に多数の子どもたちや教職員が部活動単位で協力および積極的に参画しており、地域との協働の体制が整ってきています。また、吹奏楽部やギター・マンドリン部の地域からの演奏要請も増え、子どもたちの地域交流の場が広がりを見せています。ギター・マンドリン部は、交流のつどいでも演奏の機会をいただき、地域に住む卒業生たちとともに音楽表現することができました。地域キャラクターとみにゃん(着ぐるみは子どもたちと教職員の共同制作で今年リニューアル。より一層かわいらしくなりました)の知名度も高くなってきており、中学校としても広報に力を入れています。また、ボランティアサークル「とみにゃんクラブ」の子どもたちも、栽培・調理活動や掲示物作成、とみにゃんグッズ製作等、活動機会が増えた一年となりました。

とみにゃん
はしご車で
青空へ

今年度のまとめ

キャリア教育での地域事業所等の協力を得た体験学習や情報・特別支援への教育活動等といった地域の方々からの日々の支援、逆に、子どもたち・教職員が、地域行事や地域教育協議会主催の行事に積極的に参加・協力することが、地域と子どもたち・学校、双方向の活性化につながりました。

地域の中の自分を実感し、地域で学び、地域と協働する取組が前進してきているように感じます。

来年度に向けて

子どもたちが周りの人とのつながりや思いやりを感じながら、地域活動への参画・協働する機会を充実することで、子どもたちの「コミュニケーション力」や「自己表現力」、「自ら行動できる力」の育成をさらに進めていきたいと思えます。また、地域の中の「自分」・「学校」が「地域」とともに成長していくということへの意識・理解を促進するため、地域キャラクター『とみにゃん』とともに広報をさらに行っていききたいと思えます。

テーマ

いきいきワクワク富南タイム

目標

『人とふれあい地域とつながる』をコンセプトに地域環境を生かした体験重視と、読書を通じた情操力の向上を目指す。

今年度の取組紹介

本校は、これまで地域の環境を生かした学習に取り組むことにより、豊かな人間性の育成を図ってきました。子どもたちが生活する地域社会と積極的に関わり、体験活動を通して学ぶ楽しさや活動する喜びを味わい、地域を愛する心やよりよい生き方・考え方を身に付けられるように各種事業を推進してきました。その一つに、豊かな自然と地域の産業を児童が理解するための栽培体験学習事業があります。自ら体験することで地域に生きる人々の気持ちや思いを知り、自分の住む地域を見つめさせ、誇りに思う気持ちを子どもたちに持たせたいと考えました。3年生はイチゴ作りに、5年生は米作りに取り組むことで、それぞれ地域の方とのふれあいと収穫の喜びを感じる学習となりました。また、子どもたちが心躍らせる学習の場として読書活動を設定しています。毎週木曜日の朝の読書時間をファンタジータイムと設定し、地域のボランティアの本の読み聞かせや外部のボランティア「野の花ぶんこ」さんの支援を得て行う絵本の読み聞かせの会は、子どもたちに読書の楽しさを実感させる必要な活動となっています。そして、長年継続してきたファンタジータイム事業は、地域の方と子どもたちのふれあいを高め、地域と学校の繋がりを強くする大切な取組となっています。



今年度のまとめ

「地域の環境を生かした体験活動」「読書環境の充実」を柱に、学校・保護者・地域が協働して様々な取組を推進してきました。その結果、児童に自ら活動する楽しさを体感させ、生きる力と豊かな情操力を育てることができました。また、図書の実験を充実させることで、読書活動が活発になり児童の読書量も増やすことができました。また、ファンタジータイムボランティアの方々の読み聞かせを通して交流することで、教育活動の充実を図ることができました。このように、地域の方々が学習活動に参加いただくことで、本校教育へ理解を深めていただくこともできたと考えています。

来年度に向けて

今年度も、地域との関わりを大切に取組を推進してきました。子どもたちの知的な探究心を育て、自ら学ぶ楽しさを体験させ、確かな学力と豊かな情操力を身に付けさせることができました。

地域で子どもを育てるという思いで、たくさんの支援をいただき感謝しております。今後も、学校と家庭と地域が一体となって子どもを育てていくために、コーディネーターやボランティアの方々と教職員の日常的な協働体制の構築をめざし、地域社会との輪が一層広がっていくように努めたいと思います。

テーマ

体験 発見 創造ひろがる「三碓学習」

目標

児童の豊かな感性を醸成する

～学習環境の整備・充実 地域の方々と連携した本物にふれる体験を

今年度の取組紹介

「三碓の町たんけん」「いのちの学習」「三碓の祭り」「昔あそび」「人権と平和」「稲作」など各学年で、事業テーマに基づき、様々な本物に触れる活動を行うことができました。これも長年本校を支えてくださる地域の方々のお蔭です。

さらに昨年度に続き、4年生が地域を流れる「富雄川」を学習材として、児童全員が「富雄川に触れる」「富雄川を知る」ということから学習をしました。児童自らの「なぜ?」「どうして?」という思いから課題設定し、様々な人と関わって調べたり、現地に行って確かめたりするなど探究はどんどん深まりました。しかし、児童の疑問は多種多様で、その解決には専門的な知識や技術が必要なこともありました。そこで様々な専門分野の方々のご協力を得、児童は新たな出会いを通して、本物を体験することができました。これは「三碓学習」の大きな一歩となりました。

また、豊かな感性を育む事業として、「図書ボランティア」活動と「校内緑化整備」を継続しています。



今年度のまとめ

豊かな感性・情操の育成は、本校保護者および地域の方々の強い願いです。本事業を継続して行ってきた一番の財産は「人となご縁」です。様々な専門性や人脈をもった方々との出会いから、また新たな人となつながりが生まれました。その地域を愛する方々とともに本物を体験した児童は、地域「みつがらす」を愛し、郷土ならに誇りをもつことができました。その思いを、周囲に発信し、良さを次代へとつなごうとする心情と実践的方法を身につけることもできました。

緑化活動事業の「三碓の里山」整備も進み、観察池には絶滅危惧種のニッポンバラタナゴも元気に泳いでいます。校内にも子どもたちがいつでも富雄川の自然や水生生物に触れられる癒しの空間づくりを進めました。

来年度に向けて

児童の疑問や関心にどれだけ寄り添ったテーマを設定し、本物の体験ができるかがさらなる課題です。児童の願いにふさわしい出会いを提供できるのでしょうか。協力いただける地域の方々との「ご縁」を大切にしながら、新しい出会いにも期待がふくらみます。

テーマ

笑顔・歓び・愛あふれる 三碓っ子の育成

目標

昨年度の課題、子どもの現状等を踏まえ、園児たちが様々な「ひと・もの・こと」との触れ合いやかかわりを深めることによって、豊かな心ややる気を育み、心身ともに健康で安全な生活をする力（生きぬく力）を身につけさせる。

今年度の取組紹介

『お茶会』では地域の講師先生に来ていただき、お茶の点て方や作法について教えていただきました。1回目は自分で点てたお茶をいただき、2回目は友達と点て合いお茶をいただきました。3回目ではお家の方に来ていただき、点てたお茶を互いにいただく機会をもちました。「飲んだことある」「点てるの難しい」「苦いな」と話していた子どもたちも、回を重ね友達やお家の方に点ててもらい「おいしい」と喜んでいました。また「おいしく点てるね」と、心をこめて点ておもてなしをする気持ちが伺われました。普段経験できない日本の伝統文化に触れる貴重な体験となりました。



またふれあい交流会では、地域のクレインクラブやグリーンクラブの方々をお招きし、昔の生活の話聞かせていただいたり、お手玉やこまなどで一緒に遊んだり、紙てっぽうの折り方を教えていただいたりしました。だるま落としでは、おじいさんの技を見て「おじいちゃん、すごい！」「うまいな」「どうやってするの」と、やり方を教えてもらい何度も挑戦していました。最後は一緒に『百歳音頭』を踊り「また来てね」「元気で長生きしてね」と、手を握りながら声をかける姿が見られました。



今年度のまとめ

様々な体験を計画的に積み重ねてきたことで、子どもたちの生活経験を広げることができました。その中で、継続して取り入れているお茶会・リトミック・サッカー教室・クレインクラブとグリーンクラブとのふれあい会などでは、講師の先生や地域の方々に親しみを持ってかかわり、それぞれが意欲的に活動していました。また、お茶会を通して相手のことを考える大切さを知り、人の気持ちを考え行動する優しい気持ちが育成されたように思います。クレインクラブやグリーンクラブの方々からは、「子どもたちに会うのが楽しみ」「元気が出る」と言っていただき、継続の大切さを感じています。子どもは様々な経験をし、いろいろな方とかかわりをもつ中で、知ることや身につけていくことがたくさんあります。そんな機会を大切にしていきたいと感じています。

来年度に向けて

地域の方とのふれあいや、様々な経験は保護者の方々も喜んでくださっています。今後も地域の方々の協力をいただきながら事業をさらに充実し、豊かな心ややる気を持ち、生きぬく力を身につけていけるよう取り組んでいきたいと思っています。

テーマ

ぐんぐん 伸びよう 笑顔いっぱいタイム

目標

- ・3歳児からサッカー教室を計画的に実施したり、ゲストティチャーを招聘し、親子で触れ合えるような運動遊びを行ったり等体を動かす遊びを通して体力の向上をめざす。
- ・地域ボランティアや保護者による絵本の読み聞かせを通して豊かな心と想像力を育んだり、飼育活動や栽培活動を通して生命の大切さや感動体験、収穫の喜びを味わったりできるようにする。
- ・友達と遊ぶ楽しさを感じたり、自分の思いを出しながら主体的に遊びに取り組んだりする等遊びの充実を図る。

今年度の取組紹介

- ・たくさんの保護者が参加しやすいよう土曜日に『親子であそぼう』を計画した。参加人数が多く、十分に体を動かして遊ぶことができるように、小学校の体育館を貸していただき、ゲストティチャーの指導のもと、親子で手遊びやふれあい遊びをしたり、体操をしたりして、体を存分に動かして遊んだ。「一緒に体を十分に動かして遊ぶことができ、楽しい時間を過ごすことができた。」「広い場所で体を動かすことができてよかった。」など保護者の方からの声も聞かれました。



- ・絵本タイムやおはなしの広場の読み聞かせ活動を継続して行った。地域の方や保護者の方は、子どもの興味や年齢に応じた絵本を選んだり、パネルシアターやエプロンシアター等、子どもがより興味をもてるような工夫をしたりして取り組んでくださる姿も見られた。お話のストーリーや言葉に興味や関心をもち、驚いたり笑顔を見せたり、「次どうなるの?」と聞き返したり等、様々な姿を見せながら楽しんで聞いている様子を感じられた。継続して積み重ねることで、集中力や話を聞く力が身につく、心や感性も豊かになってきています。

楽しんで聞いている様子を感じられた。継続して積み重ねることで、集中力や話を聞く力が身につく、心や感性も豊かになってきています。

今年度のまとめ

- ・保護者参加による『親子であそぼう』や体力作りかけ足では、親子で一緒に体を動かす楽しさを味わい、「もっとやってみたい」と意欲的に運動遊びに取り組む姿へとつながった。
- ・いろいろな人とのふれあいを通して、子どもたちは自分から挨拶をしたり話しかけたりする等、人とかかわる力やコミュニケーション力が育ってきています。

来年度に向けて

- ・本年度の取り組みを継続し、次年度も定期的に指導講師を招聘したり、地域ボランティアの協力を得たりしながら、いろいろな体験を通して、豊かな感性や健やかな体を育てていきます。